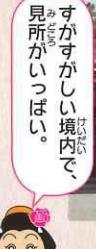


寺社・古墳の名所そろう 玉村地区

1 玉村八幡宮



たまむらはちまんぐう
玉村八幡宮は、源賴朝が
源氏の分靈を角渕に
移したのが始まりで、江戸時代後期の建築様式を
残す造りだよ。

2 木島本陣跡歌碑



3 称念寺 家鴨塚

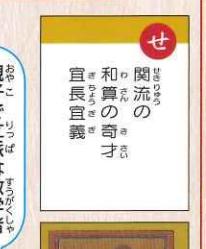


けいだい
境内にある家鴨の供養塚。嘉永3年(1850)、国定忠治が江戸送りされる途中、病気で苦しんでいたので治療に家鴨の血を飲ませたと伝えられているよ。

4 満福寺



6 斎藤宜義の墓(宝蔵寺)



7 軍配山古墳



ぐんぱいやまの名は、天正10年(1582)の神流川合戦で、織田信長の家来浦川一益がここで軍配を振ったことに由来しているようよ。

4世紀に造られた円形をした古墳で、ここから鏡や勾玉などが出土しているよ。玉村町を代表する古墳だよ。

のどかな景色に歴史が息づく 上陽地区

8 神明宮(樋越)



かおり
いい香りだな~!

そ
神明さまに

その昔、伊勢太郎忠綱が建て、今この地に祀つたと伝えられる古い神社。境内には二十八の石の神社が建ち並んでいるよ。

9 花台寺五仏



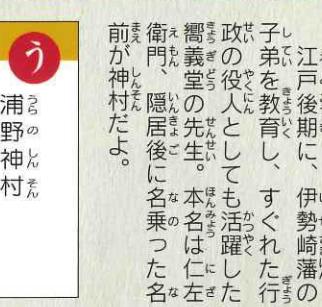
10 鬱義堂



なか
庭の中には鬱義堂の石碑「鬱義堂記」が残されているよ。

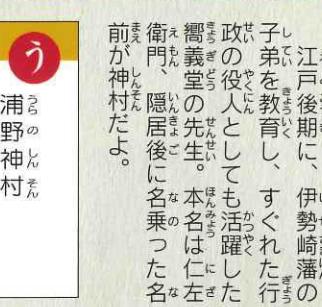
ごぶつわ
境内には江戸時代の五仏があるよ。

元禄二年(一六八九)に建てられた五仏が貴重!



江戸時代の郷校(庶民の学校)。現存する建物は明治時代の建築だよ。

11 浦野神村の墓



古代のロマン発見!
北部公園の整備に伴う発掘調査で発見された古墳時代前期の水路跡や奈良時代の道路跡(推定「東山道」)、平安時代の水田が発見され、県内外から注目を集めたんだ。

12 砂町遺跡案内板(北部公園内)



北部公園の整備に伴う発掘調査で発見された古墳時代前期の水路跡や奈良時代の道路跡(推定「東山道」)、平安時代の水田が発見され、県内外から注目を集めたんだ。